

第4回日中韓教育大臣会合

——2024年日中韓教育イノベーション宣言——

我々、大韓民国、日本国及び中華人民共和国の教育大臣は、2024年6月15日に韓国のソウルにおいて第4回日中韓教育大臣会合に集まった。

日中韓教育大臣会合は、2015年11月1日に韓国のソウルで開催された第6回日中韓サミットにおいて、韓国、日本、中国の3か国の首脳決定により開始され、会合において3か国の首脳は、3か国間の相互理解と共同の発展を促進するための教育の重要性を再確認した。

日本国文部科学大臣と中華人民共和国教育部長は、新型コロナウイルス感染症の影響により4年間中断されていた会議の再開を歓迎し、議長国である大韓民国副総理兼教育部長官が会議開催に尽力したことに感謝の意を表した。

我々は、日中韓三国協力事務局（TCS）の会合への継続的な参加を歓迎し、教育協力の強化におけるTCSの役割を再確認し、協力関係を発展させていくことへの希望を表明した。

我々は、2024年5月27日に韓国ソウルで開催された第9回日中韓サミットでも、人的交流の重要性を改めて表明した。

我々は、急速な技術・環境の変化の中で相互理解と信頼を育み、革新的な人材を育成するために、次世代を担う若者同士の交流が重要であることを認識した。この点に関し、我々は、過去の成果に基づき、3か国間の教育協力と交流を継続的に強化する必要性を再確認した。

以上を踏まえ、我々は以下の共同議題について議論し、今後の協力の方向性について決定した。

1. デジタルトランスフォーメーション時代における未来の教育に関する日中韓協力の強化

1.1. 我々は、デジタルトランスフォーメーションの時代に適応するためには教育の変革と革新が不可欠であるとの共通認識に達し、教師のデジタル能力の向上、授業の革新、デジタル教育ツールなど、デジタル教育の分野で3か国が直面する

課題に対処するための協力の重要性を確認した。

- 1.2. 我々は、教育のあらゆる分野におけるデジタルトランスフォーメーションを体系的に推進するためのデジタル教育政策とベストプラクティスを共有することで一致し、デジタルインフラとコンテンツの確保、教育システムと環境の改善、教師と生徒のデジタル活用能力の向上など、3 か国間のデジタル教育イノベーションに関する協力の道筋を議論するための教師向けセミナーとフォーラムを開催する必要性を認めた。
- 1.3. 我々は、デジタル教育に適用されるべき基本原則を共有し、デジタル格差、サイバーセキュリティ、安定性など、テクノロジーの活用に関連する懸念に協同して対処するための様々な解決策を模索するために協力することを決定した。

2. 次世代の交流に向けた日中韓協力の強化

- 2.1. 我々は、2002 年以来継続的に開催されている日中韓子ども童話交流事業が、3 か国の若者の間で東アジア文化への理解を促進する上で重要な役割を果たしていることを前向きに評価し、近年の新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に中断されていた同事業が 2023 年に韓国で再開されたことを歓迎した。我々は、本年 8 月に日本で開催される同事業の成功に向けて、引き続き積極的な関心と支援を促進していくことで一致した。
- 2.2. 我々は、第 1 回日中韓教育大臣会合で開始された日中韓大学生交流プログラムの会合を通じて得られた、地球規模課題に対する共同解決の表明を含む、成果を再確認した。また、中国が第 3 回日中韓大学学生交流プログラムを主催することを歓迎した。
- 2.3. 我々は、3 か国間の初等中等教育段階の児童生徒の交流、相互訪問、文化体験を奨励し、将来の世代間の理解と友情を強化するために、青少年スポーツや文化イベントを含む様々な活動を支援した。

3. キャンパス・アジアの成果と今後の方向性の共有

- 3.1. キャンパス・アジアは、ASEAN に見られるよう、参加国やコンソーシアムの範囲と数を拡大し、学生数も増加することで汎アジア的な学生交流プログラムへと発展し、第 3 段階に入る中で相互理解の機会の拡大に貢献しており、その積極的な役割を高く評価した。1 万 5 千人の大学生の参加を獲得したキャンパス・アジアの成果を評価するとともに、2030 年末までに 3 万人の学生を集めることを目標に、このプロジェクトを積極的に支援していく。

- 3.2. キャンパス・アジアは、韓国、日本、中国、ASEAN 諸国の大学での学生交流プログラムを通じて、アジアで必要とされる革新的な人材を育成し、3 か国間の相互理解を促進するための基盤を築いたと我々は積極的に評価した。
- 3.3. キャンパス・アジア・プログラムがアジアのみならず世界規模で国際的に認知される交流プログラムへと発展することを期待し、対面とバーチャルの両方の活動を含む交流の促進に努めるとともに、アジア全域の大学間での共同カリキュラム、単位互換プログラム、ジョイント／デュアルディグリープログラムの開発、3 か国間の質保証基準の開発に引き続き協力していく。
- 3.4. キャンパス・アジアの第 4 モードを見据え、我々は 3 か国間の協力に対する相互のコミットメントを再確認し、プログラムの更なる発展を積極的に支援するために引き続き取り組むことを決定。この観点から、我々は、第 8 回日中韓大学間交流・連携推進会議が中国で開催されることを歓迎した。
- 3.5. 我々は、日本で開催される第 5 回日中韓教育大臣会合において、3 か国の大学間の高等教育協力とネットワーク構築を強化することを目的とした第 2 回日中韓学長フォーラムを立ち上げるという決定を歓迎した。

4. グローバル教育の推進に向けた日中韓協力の強化

- 4.1. アジア及び世界の教育の発展における 3 か国間の教育協力の重要な役割を認識し、我々は、特に ASEAN+3、東アジア首脳会議及び ASEM を通じて多国間のパートナーシップを強化するというコミットメントを再確認した。
- 4.2. 我々は、2025 年に韓国で開催される APEC 首脳会議の成功を確実にするために緊密に協力することにコミットした。
- 4.3. 我々は、第 5 回日中韓教育大臣会合が日本で開催されることを歓迎した。